

# パレスチナに各地で連帯

## 平和導く光に歩みを

### 東京で宗教者ら

イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区での即時停戦などを求めて、「平和をつくり出す宗教者ネット」など4団体は20日、東京都のJ.R渋谷駅前で「武力で平和はつくれない」「パレスチナに平和と自由を」などとし

ユプレヒコールを上げました。

この取り組みは、昨年9月の安倍晋三元首相の「国葬」に反対する取り組みとして始まり、今回で17回目。参加した約20人は横断幕ののほりを持ち、通行人に訴えました。

日本キリスト教協議会総幹事の金性済（キ



ガザでの即時停戦を訴える宗教者ら＝20日、東京都渋谷区

戦を」と訴えました。日本カトリック正義と平和協議会の屋間範子さん（60）＝埼玉県

「は、アメリカとの軍事協力にノーの声を上げる時。憎しみの後には何も残らない。クリスマスに平和へ導く光が訪れるように、歩みをすすめよう」と呼びかけました。

## 米国追隨の政府批判

### 大阪で総がかり

おおさか総がかり行動実行委員会は19日、大阪市北区で「STOP P GENOCID E! パレスチナに平和を」と緊急集会とパ



パレスチナに平和をとパレードする清水氏（横断幕中央）ら参加者＝19日、大阪市北区

リードを行い、400人以上が参加しました。

中之島公園内で開かれた集会では、大阪憲法会議幹事長の丹羽徹龍谷大学教授が開会あいさつ。「アメリカに追随してイスラエルに非人道的行為をやめさせる積極的行動をしていない政府を糾弾しつつ、パレスチナの人たちと連帯しながら軍事行動をやめさせていこう」と呼びかけました。

関西ガザ緊急アクション、パレスチナ問題に取り組んでいるサポテン企画からのスピーチに続き、立憲民主党府連幹事長の野村生代校方市議、日本共産党の清水ただし衆院近畿比例候補、社民党の大椿裕子参院議員、れいわ新選組の大石晃子衆院議員がスピーチ。清水氏は「日本政府は国際法違反の無法な攻撃をやめろと言うべきだ。国際社会が連帯し、戦争を早期にやめさせるまでもに頑張らましよう」と訴えました。

参加者は大阪市中心部の御堂筋を「子どもを殺すな！誰も殺すな！」「いますぐ停戦」などとコールしながらパレードしました。